

藤岡市議会だより



◆発行日 平成26年2月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 有限会社大石印刷
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第65号



上毛かるた競技大会（1月19日 市民ホール）

12月定例会の あらまし

定例会は、11月28日から12月11日までの14日間の会期で開催されました。

藤岡市議会基本条例の制定についてなど37議案が提出されました。

◇28日〓 本会議 会期の決定。

議案33件を上程、うち32議案を即決。

◇2日〓 総務常任委員会、

教務厚生常任委員会。

◇6日〓 本会議 一般質問。

◇11日〓 本会議 委員会付託議案

1件を可決。追加議案1件を即決。議員提出議案3件を即決。

幸せ実感のまちづくり

について

隅田川 徳一

問 藤岡市は、平成26年4月1日で市制施行60年を迎え、加えて来年度は富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録を期待するところですが、今後のまちづくりの基本方針について、市長の考えを伺います。

答 藤岡市の特性としては、自動車交通の要衝であること、自然環境が豊かであること、長い歴史に培われた土地であること、7万都市

としては医療機関が充実していること、災害が少ない地域であることなどが挙げられます。この特性を活かして、企業誘致や観光、物や人々の交流を活発にし、快適な暮らしを演出し、郷土愛の育成を図っていききたいと考えます。

**問** 藤岡市の課題について伺います。

答 大きな課題としては、藤岡市は川に囲まれた都市であるため、橋を渡らなければどこの市町村へも行けません。橋を架ける事により、人々の動線が変わります。藤岡市単独では不可能ですが、藤岡市の利便性が向上し、有効であると考えます。

また、環境行政においては、低炭素社会と循環型社会の実現を目指し、それを市民と共に実践していかねければならないと考えます。

そのほか、最近の集中豪雨等に対する対策、市街地活性化、土地利用促進対策などが課題であると考えます。



問 4月に市長選挙が実施されます。新井市長の出馬についての明確な答弁をお聞かせください。

答 私はこれからも藤岡市の発展と、市民福祉の向上のため、愛情と勇気をもって市政運営に全力を傾け、邁進していく覚悟であり、引き続き市政運営を担わせていただきたく、4月の市長選挙に挑戦する決意をしました。

第4次藤岡市総合計画

について

渡辺 新一郎

問 平成25年度までの実施計画の達成状況について伺います。

答 実施予定事業は431事業で、着手した事業は422事業、着手していない事業は9事業で、着手割合は98%です。

問 達成できなかった主な事業とその理由について伺います。

答 中栗須住宅団地造成事業は、人口増加策で宅地開発を行い、分譲する計画でしたが、民業を圧迫するおそれがあるため事業を中止しました。藤岡大胡線から総合学習センターへのアクセス道路は、上日野藤岡線からのアクセス道路完了後に着手する予定です。下三波川広場整備事業は、予定地を県の砂防堰堤工事の残土の一時保管場所としており、この工事完了後に着手する予定です。小野保育園施設整備事業は、平成27年度から子ども・子育て支援制度が施行されることから、二

ーズに対応した保育サービスを提供できるよう検討するため、整備を先送りします。

問 市内全ての公民館が耐震強度不足なのか、伺います。

答 昭和56年の新耐震基準施行前の、昭和49年建築の平井、昭和51年建築の小野、昭和53年建築の美土里、昭和54年建築の神流公民館に対し、平成27年度に耐震診断を実施し、改修工事を進めていく考えです。

学校教育について

問 エアコン設置について、PTA、学校、保護者からの要望がなかったのか、また、教育委員会の職員は、夏場に現場に行き、暑さを体験したことがあるのか伺います。

答 前回の定例会での一般質問の時点では出ていませんでしたが、10月の校長会で会議室と普通教室へのエアコン設置の要望が出されています。また、教育委員会の職員は、学校に赴いて暑さを体感しています。

問 小・中一貫教育の目的について伺います。

答 学力の向上、体系的なキャリア教育、継続的な生徒指導を実現することが目的です。

問 なぜ平成26年度から始めるのか、じっくり検討するべきだと思いが伺います。

答 早期の学力向上を図るため、平成26年度中に一部始めたいと考えています。

風水害対策について

窪田 行隆

問 昨年10月の伊豆大島の台風災害では、気象庁の土砂災害警戒情報が出ていましたが、大島町は住民に避難勧告等を発令していなかったことが、大きな問題となりました。

最近では温暖化のためか、降雨量も増え、土砂災害などの危険性が高まっています。藤岡市において、土砂災害が予想される際の避難勧告等の判断基準を伺います。

答 当市では地域防災計画の中で避難準備情報は、大雨等の警報・土砂災害警戒情報が出され、土砂災害が発生するおそれがあるとき、避難勧告は、土砂災害の前兆現象が確認されたとき、避難指示は、土砂災害による人的被害の危険性が高まった時に発令することとなっています。

問 現在の基準には降雨量等の数値基準が無く、最終判断は市長にゆだねられています。避難が遅れるのを防ぐため、妥当で明確な数値基準を定めるべきと考え

ますが、伺います。

答 数値基準を設定すれば、避難勧告等の発令がスムーズになると思われますので、先進事例を参考に研究していきたいと考えます。

問 藤岡市では行政区ごとに避難訓練を行っています。が、その実施状況を伺います。

答 6年間で24行政区が実施し、実施済みの行政区の割合は3割となっています。

問 全ての行政区で、早期に避難訓練を実施するよう取り組むべきと考えますが、伺います。

答 全ての行政区で実施できるように、区長会等に働きかけていきたいと考えています。

問 市職員は災害時には防災スタッフとしての活躍が期待されますが、防災に関する研修実施状況について伺います。

答 危機管理セミナーで、防災マニュアルについての

研修と、普通救命講習を一部で実施しましたが、具体的な防災に関する職員研修は、現在実施していません。

問 職員に対して、防災についての基礎知識の研修が必要と考えますが、伺います。

答 災害時には職員自ら役割を把握し、主体的に行動する必要があります。防災意識を高く持つため、職員研修の実施を今後検討します。

藤岡市における

工業団地の現況及び

今後の課題について

岩崎 和則

問 現在分譲中の工業団地の企業進出状況と、残りの分譲地の面積及び金額について伺います。

答 北部工業団地は、2区画、2・9ヘクタール、三本木工業団地については5ブロック、15・6ヘクタールの分譲を開始し、うち4区画約3・7ヘクタールに企業の進出が決まっております。

残された分譲面積は約14・8ヘクタール、金額で27億6863万8000円となっています。

問 1年間で両工業団地の借入金に係る利子と管理費用が約1700万円かかり、平成29年度以降も売れない場合、当然赤字になるが、その債務の補てん方法について伺います。

答 三本木工業団地は平成29年度まで、北部工業団地は平成35年度まで赤字にならないという試算結果になっています。また、補てん

方法は、運用資金がなければ借入金で対応したいと考えており、藤岡市土地開発公社収支決算で、損失が発生した場合に、前年からの準備金を充当して対応したいと考えます。

問 企業誘致の条件として周辺道路の整備が重要だと思いが、前橋長瀬線バイパスの神田工区の道路整備、神田と神川町を結ぶ新橋整備、吉井インターチェンジへのアクセス道整備について、今後どのように取り組まれるのか伺います。

答 神田工区は、「はばたけ群馬・県土整備プラン」に位置づけられ、本年度概略設計に着手しました。神流川新橋を伴う道路整備については、群馬県と埼玉県をまたぐ幹線道路のバイパス的な位置づけとして調査研究してきており、吉井インターチェンジから神流川を渡り、本庄児玉インターチェンジを結ぶ広域路線の整備構想は、市としてもぜひ実現したい路線です。また、吉井インターチェンジへのアクセス道路である県道神田吉井停車場線は、藤岡市側の整備は終了して

おり、高崎市側では、平成29年の完成を予定しています。



市制施行60周年記念

事業について

茂木 光雄

問 事業計画案について伺います。

答 藤岡市は、平成26年4月1日に市制施行60年を迎えます。記念事業の総予算として2000万円を見込み、記念式典を11月1日に開催する予定のほか、高山社跡の世界遺産登録が期待されることから、市民と共に祝祭イベントを初秋に行い、花火大会についても1000万円の交付金を支

出し、開催を予定しています。また、冠事業として、NHKの公開番組の招致実現に向けて、現在調整中であり、さらに「宝くじまちの音楽会」についても開催を申請しています。

おさめました。60周年記念事業としても、できれば企画をしていきたいというところで、今後も協議はしていきますが、色々制約があり、現段階では難しい状況です。

施設老朽化対策について

問 橋梁、トンネル等公共構造物の老朽化対策について伺います。

答 現在藤岡市が管理する橋梁は486橋で、そのほとんどは高度成長期に建設されており、平成44年には

橋長15m以上の橋梁の約50%が建設後50年を迎えます。市では平成24年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、平成26年度より計画的に国庫補助事業として点検と修繕をしていく予定です。早期に修繕を行う主な橋梁は、鳥川大橋、渡牛橋、岡本橋、西平橋、熊野橋等です。

藤武橋は昭和34年に架橋された橋梁で、群馬県の管理であるため藤岡土木事務所が橋梁点検を行ったところ、損傷箇所が認められ、平成23年度から地覆防護柵や伸縮装置等の補修工事を

実施しており、平成29年度までに完成させる予定です。また、市が管理しているトンネルは、保美トンネルと美原隧道の2つで、平成24年12月の笹子トンネル事故の後、国の通達を受けて点検を行ったところ、問題ないことを確認しています。



婚活支援について

齊藤 千枝子

問 今の30歳未満の若者の生涯未婚率は約25%と予測されています。厚生労働白書では、若者の未婚者のうち、結婚する意志のある人が9割弱いることから、周囲の様々な支援により結婚に至るケースもあるとしています。そこで、藤岡市の結婚相談事業や出会い支援イベントの開催状況について伺います。

答 相談事業は、社会福祉協議会に委託し結婚を希望

する方に助言や支援を行うと共に、登録された方に出会いの場を提供しています。ぐんま縁結びネットワーク事業では、婦人団体が世話人として、年一回のお見合いパーティを開催。商工会議所へ委託の青年交流事業では、毎回趣向を凝らした企画で参加者から好評を得ています。観光協会主催の土火合コンイベントは、出

会いの場の創出や土と火の里公園の活性化策としても有効だったと考えています。

問 それぞれのイベントを充実させると共に、マナー

やコミュニケーション能力を高めるセミナーを開催できないか伺います。

答 出会いのチャンスを活かせるような、そうしたセミナーの開催を検討したいと考えています。

投票所の統廃合について

問 統廃合する予定となっている投票所を伺います。

答 各投票所における選挙人数が100人以下の旧市自然の家を廃止し、小柏公

会堂と統合、法久集会所を廃止し、坂原コミュニティセンターと統合させる方向で調整を行っています。

問 昨年7月の参議院議員通常選挙では、法久集会所は67・44%と投票率もよく、また、期日前投票においては市全体よりも旧市自然の家では1・7倍、法久集会所は2倍以上となっていました。投票所が遠くなると共に有権者の思いや願いも遠ざけてはならないと思います。期日前投票を勧めると共に、投票日当日に市でマイクロバスなどで送迎を行

うことができないか伺います。

答 選挙人への移動支援については、投票当日の送迎用のタクシー運行など、全国的には実施例もありますので、藤岡市の状況と比較した上で検討したいと考えます。



藤岡市防災計画・

水防計画について

大久保 協城

問 藤岡市の災害時の情報伝達手段について伺います。

答 携帯電話での緊急速報メール、自主防災組織等を活用した電話連絡や個別訪問、消防団や市職員による巡回広報や個別訪問により伝達しています。

問 修正された防災計画では、災害時の情報収集、伝達手段としての地域防災無線・防災行政無線が削除さ

れましたが、その理由について伺います。

答 日中に発生した地震や津波に対しては有効な手段と思いますが、夜間に発生した災害、特に台風などの風水害では、暴風雨による外部騒音や風向きにより屋外スピーカーからの音声が届き取りにくく、情報伝達は難しいと思われます。そのため、衛星携帯電話の配備や緊急速報メールの導入などで対応していきたいと考えています。

問 情報伝達手段として地

域FM放送局開設について伺います。

答 周波数の確保、高額な整備費用、運営団体の選定、運営費の確保等の課題があり、放送局の開局は難しいとの結論に至りました。



通学路・一般道の

安全確保について

問 道路整備や補修を行う基準について伺います。

答 市道の補修や整備を行う基準はありません。現地を確認し、緊急性や利用状況により補修時期や工事内容を決めていきます。道路の破損箇所は、シルバー人材センターに道路パトロールを委託、市民の方を対象に広報ふじおかで連絡依頼を掲載するなどして、道路破損箇所の早期発見に努めて

問 行政区と行政区の間などの道路照明が整備されていない地域や通学路の安全対策について伺います。

答 行政区間で住居がない場所の防犯灯設置については、その地域に受益者が存在するなど、設置の必要性があればその箇所に関係する行政区や地区区長会で協議、調整をし、設置しています。

学校給食施設整備

について

橋本 新一

問 学校給食センター建て替え検討委員会の委員は、庁内職員10名ということですが、他市町村では、学識経験者、PTAの代表者、関係団体の代表などで構成されています。庁外の有識者の意見も取り入れるなどの考えはなかったのか伺います。

答 検討委員会では本年度中に最終報告をまとめるべ

く検討を進めており、新たな学校給食センターの整備を事業実施するには、まず基本計画を策定し、その後基本設計、実施設計と進めていくこととなります。この基本計画の策定に際し、児童・生徒の保護者や教職員、有識者等の意見やパブリックコメント制度等も活用し、広く市民の方の意見を聞きながら策定したいと考えています。

問 基本計画は共同調理場方式が前提ということでしょうか伺います。

答 今後も共同調理場方式すなわちセンター方式で検討を重ねていきたいと考えています。

防災危機管理について

問 平成24年6月に報告された群馬県地震被害想定調査によると、関東平野北西縁断層帯主部による地震の被害想定が公表されましたが、それを踏まえた本市における防災体制の現状について伺います。

答 本市の被害想定では死者480人、全壊建物は約

9000棟、3万人以上が避難者になるとされています。現在、藤岡市地域防災計画における地震の被害想定は、平成7年から実施された前回の地震被害想定調査の結果を基にしておりますが、この調査では、死者は12人、全壊建物は約1500棟、避難者は約2500人であり、死者数で40倍、全壊建物数で6倍、避難者数で12倍の被害となります。このことから、現在修正中である地域防災計画における被害想定を見直すとともに、職員が被災した場合でも災害応急対策業

務や市民生活に密着する通常業務などが継続できる体制を構築したいと考えています。



経済建設常任委員会報告

行政視察

視察年月日
場所

平成25年10月15日（火）
広島県 江田島市

江田島市の観光事業について

江田島市では、新たな観光事業としてアウトドア観光の推進や、体験型観光の推進、民泊型修学旅行の実施など、地域の魅力を活かした観光事業を展開している。このような地域の魅力を活か

方や地域の人達との関わり方などについて、視察を行った。

アウトドア観光事業としてサイクリング事業を平成23年度から開始し、新鮮な海の幸など「江田島グルメ」を満喫できるファミリーサイクリング大会や、親子を対象にしたサイクルイベントでは自転車の整備やマナー講

習を行い、島内サイクリングを宿泊型で開催している。

また、江田島湾でのカヌーなどのマリンスポーツの振興にも力を入れている。

そのほか、若者の出会いの場所として、クルージングでの「船コン江田島」や「しまコン江田島」も開催しており、多くのカップルが誕生した。

また、従来の観光的な修学旅行から体験型修学旅行への転換として、一般家庭に生徒が泊まるという体験を通し、人との交流を学び、田舎ならではの畑作業、漁業体験、家業体験から、地域の「ほんもの」を学ぶ民泊型修学旅行を実施しており、平成25年度は12校、1047名を受け入れ、好評を博

している。

今回の視察で、地域の資源や魅力を活かした新しい観光事業を目的の当たりにする事ができ、行政と地域住民が協働で盛り上げて実施していると感じた。

体験に勝る経験はない。見るだけでなく体験すること、思い出しとして強く残ると思うので、藤岡市でも地域に根ざした体験型観光事業を推進するべきだと考える。



委員長	神田 和生
副委員長	吉田 達哉
委員	青木 貴俊
委員	松村 晋之
委員	齊藤 千枝子
委員	反町 清
委員	針谷 賢一
委員	久保 信夫

議会基本条例制定

平成25年12月11日可決、平成26年4月1日施行

藤岡市議会基本条例は、藤岡市議会における議会運営の基本原則を定めたもので、藤岡市議会における最高規範となる条例です。

内容につきましては、3月15日に発行する「議会基本条例特集号」で、詳しく紹介します。

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で、会議録（2月下旬公開予定）をご覧ください。

◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

市議会を傍聴しませんか？

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

問い合わせ 市議会事務局（☎②1211 内線2361）

3月定例会（予定）

月 日	時間	摘 要
2月28日(金)	10:00	本会議
3月 3日(月)	10:00	本会議
3月 4日(火)		常任委員会
3月 5日(水)		常任委員会
3月10日(月)		予算特別委員会
3月11日(火)		予算特別委員会
3月14日(金)	10:00	一般質問
3月17日(月)	10:00	一般質問
3月19日(水)	10:00	本会議

編集後記

新しい年を迎え、市民の皆様にとって、より良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年は午年。颯爽と駆ける馬の姿は、勇ましく、さらなる飛躍を感じさせます。藤岡市も、今年の4月に市制施行60周年を迎えます。藤岡市のさらなる飛躍と真の豊かさを実現するため、市民の皆様と共に、議員一同より一層努力をいたす所存であります。

12月定例会では、藤岡市議会基本条例を制定いたしました。議員一人一人が、議会と議員の責任と役割を十分に認識し、議会活動を行うことなどを明確にしました。

議会だより編集委員会
委員長 松村 晋之
副委員長 青木 貴俊
委員 渡辺 徳治
委員 岩崎 和則
委員 佐藤 淳
委員 齊藤 千枝子
委員 冬木 一俊
委員 隅田川 徳一



も、議会活動をよりわかりやすくお伝えできるように、紙面の充実に向けていきたいと考えております。今年もよろしくお願いいたします。

議案等審議結果＜12月定例会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告11号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
報告12号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
第105号	藤岡市空き家等の適正管理に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第106号	藤岡市税条例の一部改正について	可決(全員一致)
第107号	藤岡市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(全員一致)
第108号	上町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(多 数)
第109号	三杉町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第110号	相生町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第111号	中町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第112号	本町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第113号	諏訪コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第114号	根際コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第115号	三波川第2コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第116号	三波川第3コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第117号	美原第3コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第118号	坂原コミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第119号	藤岡市障害者地域活動支援センターさくらの家の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第120号	藤岡市生活介護センター及び藤岡市障害者就労支援センターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第121号	藤岡中央児童館の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第122号	藤岡市庚申山総合公園等の指定管理者の指定について	可決(多 数)
第123号	藤岡市烏川緑地等の指定管理者の指定について	可決(多 数)
第124号	藤岡市毛野国白石丘陵公園等の指定管理者の指定について	可決(多 数)
第125号	藤岡市鬼石地区公園の指定管理者の指定について	可決(多 数)
第126号	藤岡市譲原農産物処理加工施設天神茶屋の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第127号	平・根際農事集会所の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第128号	宇塩山村活性化センターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第129号	小平山村活性化センターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第130号	妹ヶ谷山村活性化センターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
第131号	工事委託協定の締結について	可決(全員一致)
第132号	市道路線の廃止について	可決(全員一致)
第133号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第134号	平成25年度藤岡市一般会計補正予算（第2号）	可決(全員一致)
第135号	平成25年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決(全員一致)
第136号	平成25年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決(全員一致)
第137号	平成25年度藤岡市水道事業会計補正予算（第3号）	可決(全員一致)
第138号	藤岡市国民健康保険鬼石病院使用料手数料条例の一部改正について	可決(多 数)
議員提出議案		
第 3 号	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書の提出について	可決(全員一致)
第 4 号	藤岡市議会基本条例の制定について	可決(全員一致)
第 5 号	藤岡市議会委員会条例の一部改正について	可決(全員一致)
請 願		
第 3 号	脳脊髄液減少症の診断及び治療等に関する請願	採択(全員一致)
第 4 号	学校給食の自校方式の実現を求める請願	不採択(少数)